

基本から学ぶ

成果を出すための「現場カイゼンの進め方」

●プログラム●

【開催主旨】

国内における中堅・中小製造業は、人不足、人口減や国内の納品先のメーカーの海外生産の加速による国内市場の縮小など厳しい状況が続いています。

一方で、製造業に大きな影響を与える完成車メーカーも、100年に一度の変革期を迎え、EV化をはじめとするCASEへの対応などに経営資源を集中するとともに、他業種との連携強化のため、戦略的提携をグローバルに推し進め、従来の系列も中期的には無くなっていくのではと懸念をされています。

国内の中堅・中小製造業も従来のように納品先のメーカーからの要請に受動的に対応するだけでなく、未曾有の経営環境の変化を前向きにとらえ、自社の足元の競争力を更に高めるべく、既存の事業構造の見直し・強化する必要性が出てきております。

本セミナーでは、中堅・中小製造業を中心に、足元の強化を通じて、今後の環境変化への対応を図る事を念頭に、現場力強化のためのセミナーをご用意させて頂きました。数多くの中堅・中小製造業様のご参加をお待ちしております。

◆日時：2019年7月9日（火） 10:00～17:00

◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師：コンサルビューション（株） パートナーコンサルタント 瀬良 昌宏氏

【略歴】

1979年 早稲田大学工学部工業経営学科卒業。大手電子メーカーにて、新製品立上と生産現場の改善業務に従事。業務の流れ、生産工程のものの流れを阻害するムダ取り、品質競争力・業務効率の改善による利益の増加、併せて改善マインド人材の育成。セル生産方式（U字ライン）導入による多品種少量生産・リードタイム短縮。設計から生産までの責任者として活動する。

また、中堅・中小協力企業のコスト・品質競争力の強化にあたる。2015年 法政大学経営大学院でMBA取得。経営管理全般、経営戦略、マーケティング戦略、管理間接業務改善、生産管理、作業改善、現場改善、新商品・新事業開発、開発設計管理、品質管理 など。熱交換器製造業、金属加工業、絞り加工業、樹脂切削加工業、小物金属加工業、弁当製造業、食品卸業、レンタルショップ、医院などの経営革新・生産性向上。主な資格、中小企業診断士、経営管理修士（MBA）

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 *当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申込みいただけます。

●受講料● 1名（税込、資料、昼食代含む）

正会員	39,960円 本体価格 37,000円
一般	43,200円 本体価格 40,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F

TEL 090-6797-1982(直通) 03-5215-3511(代表)

FAX 03-5215-0951

191226-1110	※2019.7.9 成果を出すための現場カイゼンの進め方		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ	-----	
e-mail	お名前		
部課 役職	フリガナ	-----	
e-mail	お名前		

※DMの停止・登録情報変更は、①当会ホームページ右下「変更フォーム」、又は、②専用ダイヤル【03-5215-3512】にてご連絡ください。申込書にご記入頂きました個人情報、本研究会に関する確認・連絡及び弊会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

基本から学ぶ 成果を出すための「現場カイゼンの進め方」

◆狙い：この研修ではカイゼンの「心」と「技」を学んでいただきます。

- ①カイゼンの「心」…仕事における『カイゼン』の重要性とその効果を理解し、改善への取り組み姿勢を高めます。
- ②カイゼンの「技」…現場でカイゼンを進める際に役に立つ、改善の種探しの方法、原因追求の仕方、改善案の作り方など『カイゼン』の進め方と改善に役立つ手法を理解・習得します。

◆対象者：改善を推進する現場リーダー

.....

1. カイゼンとは何か、その必要性

企業を取り巻く環境の変化とカイゼン、「固有技術」と「管理技術としてのカイゼン」
仕事とは『作業・業務+カイゼン』、継続的カイゼンの重要性

2. カイゼンの目的と推進のポイント

カイゼンのフレームワーク、カイゼンの二つのネライ（効率向上、CS向上）、利益増大の方策
を理解する、良くある失敗…人の面、取り組み方の面

3. カイゼンの推進方策

作業改善と設備改善、改善は「見える化」×「流れ化」、カイゼンを作業分解法で進める、QC
ストーリーを理解する

4. 改善課題の発見法と原因の突き止め方

問題意識の高め方、現場観察の極意、ムダ取りチェックリスト、三直三現主義、ナゼナゼを5回、
トヨタの7つのムダ、原因追求のコツ

5. カイゼンはアイデアだ

ECRS法、ブレインストーミング、チェックリスト法